



ジャパンサーチアクションプラン策定に向けて

国立国会図書館



ジャパンサーチ アクションプラン策定に向けて（案）

（策定の目的）

■ 「ジャパンサーチ戦略方針2021-2025」で掲げられたミッション実現に向けて、戦略方針の下で取り組まれるべき具体的な行動を示す。

参考）本アクションプランは、Europeanaの“Strategy 2020-2025: Empowering digital change”に概要するような計画をイメージしている。

<https://pro.europeana.eu/files/Europeana_Professional/Publications/EU2020StrategyDigital_May2020.pdf>

（記載内容）

- 誰が（プレイヤー）、何に（取組内容）取り組むかを明確にする。
- 戦略方針における「支える」「伝える」「広げる」「挑む」の4つのアクションの目標ごとに取組を設定する。
- 目標ごとに、次の観点で一旦整理。
 - ①目的（「3つの価値」との関係性）、②指標（目指す理想形）、③現状（現時点で何ができていて何ができていないか）、④取組（具体的に実施すべき事項）

（構成案）

- I はじめに
- II ミッション
- III 戦略方針「3つの価値」
- IV 「デジタルアーカイブを日常にする」とは？
- V 4つのアクションに基づく具体的な取組（アクションプラン本文）

（スケジュール）

- 2/8 JPS-WG開催：計画素案（たたき台）について議論
- ～2/25 計画素案の意見募集〆切
- ～3/3（意見を踏まえ）計画案の作成
- 3/4～3/11 連携機関に計画案について意見募集
- 3/16～3/22 関係府省協議、連携機関向け意見交換会
- 3/28～3/31 実務者検討委員会（持ち回り）で確定
- 4/1 計画の公開



ジャパンサーチ アクションプラン策定にかかる論点 (1/2)

※括弧内の数字は、ジャパンサーチ戦略方針の「4つのアクション」の個別目標に付した番号

<全体>

- 連携機関や拡げ役・活用者にも「アクション」してもらうためには、どのような方法が考えられるか
(記述の仕方の工夫、必要な仕組みは何か)
- アクションプランの進捗管理をどのように行うか (毎年、連携機関や活用者にアンケート行うなど?)

<活用>

- ユーザにジャパンサーチを活用してもらうため、どの層にアプローチするか (1)
- 「学びながら遊ぶ、遊びながら学ぶ」とは、具体的にどのような活用方法をイメージできるか。(1)
- 教育利用を中心とした既存の取組事例以外にどのような活用事例を提案できるか (6)

<連携機関／アーカイブ機関>

- 連携機関がギャラリー作成やキュレーション機能を活用するインセンティブをどのように高めるか (2)
- オープン化に取り組む機関のインセンティブとなるような取組は何か (13)
- 連携機関同士のコミュニケーションをどのように活性化させるか (2)(7)



ジャパンサーチ アクションプラン策定にかかる論点 (2/2)

JAPAN SEARCH

※括弧内の数字は、ジャパンサーチ戦略方針の「4つのアクション」に付された番号

<相談窓口の開設>

- 連携・構築にかかる相談窓口の開設をどうすれば実現できるか (3)
- アーカイブ機関が抱える課題（長期保存、メタデータ整備など）に対して、実務者検討委員会はどのような役割を担えるか (2)(3)

<長期保存>

- 長期保存の促進のため、どのような取組が必要か (4)

<拡げ役>

- 拡げ役をどのように創出し、支援するか。「オープンデータ伝道師」のような仕組みをどのように作ればよいか (10)(15)

<インフラとしてのジャパンサーチ>

- 技術面から、ジャパンサーチに期待する取組は何か (14)
- アーカイブ機関のDXに関して、どのような変革が最も望まれるか。ジャパンサーチはどのように関与すべきか (16)



ジャパンサーチ戦略方針2021-2025 を決定

<https://jpsearch.go.jp/about/strategy2021-2025>

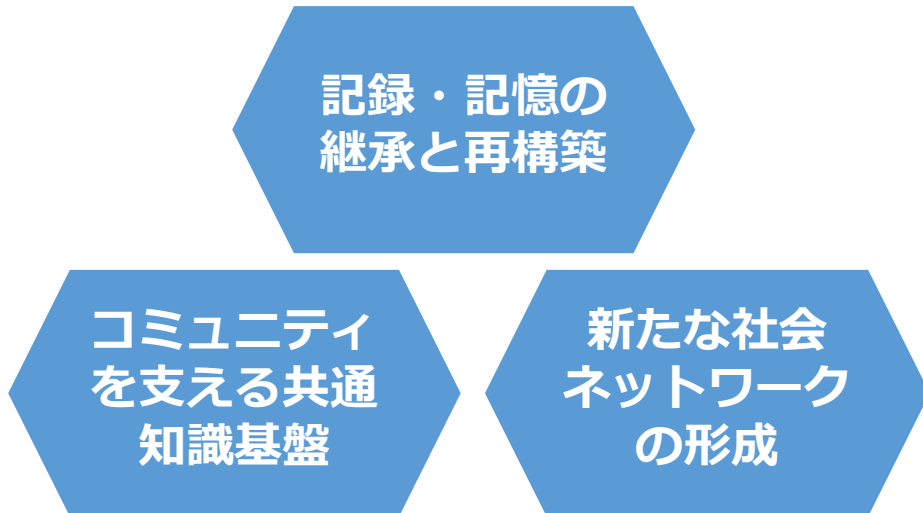
「デジタルアーカイブを日常にする」

ミッション

新しい情報技術とアーカイブ連携を通じて、日本の文化的・学術的コンテンツの発見可能性を高め、それらを活用しやすい基盤を提供することで、デジタルアーカイブが日常に溶け込んだ豊かな創造的社会を実現します

3つの価値：

デジタルアーカイブの大切な役割



4つのアクション：

ジャパンサーチを使った活動の柱

支える	学び・遊びの体験、キュレーション活動、ひとも繋ぐ、DAを長く
伝える	DAを集約・整理、DA活用方法、DA構築方法、コンテンツの魅力
広げる	デジタル化の推進、ファン層、魅力あるDA、使いやすいコンテンツ
挑む	オープン化、新たな可能性、新たなネットワーク、社会のDX化